

学校教育目標	い : いきいきとした心と体をつくる子(体)				
	ま : 学びをいかそうとする子(知)				
学校概要	創立 54 周年	学校長 島田 恒弘	副校長 稲葉 靖	2 学期制	一般学級: 17 個別支援学級: 5
	児童生徒数: 567 人	主な関係校: 今宿中学校、鶴ヶ峯中学校、今宿南小学校、今宿幼稚園、ちとせ保育園			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	今宿中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈自分づくりに関する力〉 〈問題発見・解決能力〉	今宿中学校 今宿小学校 今宿南小学校	小中一貫教育における指導の連続性 ○基礎学力の定着・学習習慣の確立 ○規範意識の醸成 ○教職員間の連携 ○キャリア教育の推進

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育目標具現化のために育成を目指す資質・能力と教育活動について検証し学力向上と児童指導充実に取り組みます。 ○信頼される学校づくりのために、学校広報の充実、地域連携、コンプライアンスの徹底、安全管理等に取り組みます。 ○効率的な学校運営を実現するために、人材育成、校内組織、環境整備、情報の共有化、校務のICT化等に取り組みます。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知(知)	①主体的に学ぶ姿勢を育て学力向上を目指して少人数指導や授業研究会を実施する。 ②朝学習・朝読書を充実させ、主体的に学び、学びをいかす姿勢を育てる。 ③家庭との連携による学習習慣の定着を図る。
担当 学力向上委員会	
豊かな心(徳)	①「道徳の時間」のカリキュラムの改善と社会的スキルプログラムの実践に取り組む。 ②ふれあい活動、あいさつ運動を継続し、いろいろな人とかかわる機会を設定する。 ③児童・教職員の人権感覚を磨き、年間を通じて人権について考えたり、実践したりする。
担当 人権教育推進委員会・道徳部	
健やかな体(体)	①体力の状況を把握し、自ら運動習慣の改善に取り組む態度を育てる。 ②健康状態やけがの状況を把握し、自ら健康増進や身の安全を図ろうとする態度を育てる。 ③食に関する体験活動を通して3回の食事・食のバランス等を見直し改善しようとする意欲を養う。
担当 体育部・食育部・保健部・栄養部	
キャリア教育(公)	①様々な体験活動・特別活動を通して自らできることを考え行動する力を育てる。 ②地域と連携した学習を通して、地域貢献・社会参画する力を育てる。 ③いろいろな人とかかわりや経験を通して、夢をもち人の役に立とうとする意欲を養う。
担当 行事部、特活部、総合部	
国際教育(開)	①日本や外国の文化に触れ国際協力や国際社会について学び多様性を尊重する心を育てる。 ②外国語教育を充実させる。
担当 外国語部、国際教室、社会科部	
児童理解・指導	①「今宿スタンダード」をもとに、朝会等も活用して統一した指導をし、問題行動の防止に努める。 ②診断やYPアセスメント等を活用し、児童の実態に応じた指導を行う。 ③機関や家庭と連携を図り、児童を中心に据えた指導や特別支援教育を行う。
担当 児童指導、特別支援	
安全管理	①避難訓練を実施し、いざという時に素早く避難できるように指導する。 ②児童の安全を守るよう職員研修を実施する。 ③施設点検、安全点検を実施し、不備な点があったときには迅速な対応に努める。
担当 防災安全、事務、用務	
信頼される学校づくり	①学校広報(紙媒体、WEB、学校教育説明会やまち懇など)を充実させる。 ②児童の健全育成について、PTA、地域との協力体制を維持、発展させる。 ③コンプライアンスを徹底し、市民から信頼される学校づくりに努める。
担当 情報・視聴覚、副校長、教務	
いじめへの対応	①定期的なアンケートや保護者面談等で児童の状況を把握し、早期発見に努める。 ②いじめ防止対策委員会を定期的に関きいじめに組織的に対応し心に寄り添った解決に努める。 ③児童支援専任を中心に、常に情報共有を図り、早期発見、早期対応に努める。
担当 いじめ防止対策委員会、専任	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①キャリアステージに応じた目標を設定し、人材育成を行う。 ②校務のICT化、マニュアル化、情報共有化を促進し、働き方改革を推進する。 ③学年研、メンターチームによる切磋琢磨や先輩教師の活用(OJT)によって、人材育成を行う。 ④校内組織を改善し効率的な学校運営を行う。
担当 副校長、学年研、メンター	